

## 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

### 取組 (3) 学習指導の充実

- 1人1台端末の効果的な活用に向け、大学准教授等を講師とした教員のICT活用指導力の向上に向けた研修を実施し、域内の全ての学校において日常の授業の中で「Google Jamboard」を活用するなど、子どもが考えを表現したり、考えを整理したりする活動の充実を図った。
- 1人1台端末の活用に向けた基盤となる情報活用能力の育成に向けて、義務教育9年間を見通した「iPad学年別スキル表」を作成し、系統的な情報活用能力の育成を図った。

### 成果

- 児童アンケートによる成果の検証
  - ・「iPadを使う学習は楽しいですか」への肯定的回答94.5%（とても楽しい82.1%）
  - ・「理科の学習はよくわかりますか」への肯定的回答98.7%（とてもわかる67.1%）
- 「iPad学年別スキル表」により情報活用能力が整理されたことで、発達の段階に応じた教科等での活用が促進されてきている。

使用アプリ	学年	1年生	2年生	3年生
<b>ドライブ</b> データを保存する データを取り出す		データをフォルダに保存できる。	必要なフォルダを見つけて、データを保存できる。	必要なファイルを検索して見つけることができる。
<b>Classroom</b> 授業の課題を読む 課題を提出する 情報をやりとりする		先生からの資料を見ることができる。	課題を提出することができる。	Classroom内でコメントをする。
<b>スライド</b> プレゼンテーション 発表する 作る		コメントを書くことができる。	図形や写真を貼り付けることができる。	スライドのテーマを変更することができる。
<b>フォーム</b> アンケートに答える アンケートを作る		選択式の質問に答えることができる。	記述式（短文）の質問に答えることができる。	小テストに解答し正誤を確認することができる。
<b>ドキュメント</b> 文書作る ワードソフト レイアウトする		文字の大きさ・フォントを変えることができる。	自分の考えを短文で書くことができる。	自分の考えを書き課題を提出できる。
<b>ジャムボード</b> ホワイトボード		手書きで考えをかくことができる。	付箋に文字を書くことができる。思考ツールの活用	実験や調査結果を入力することができる。思考ツールの活用

【iPad学年別スキル表の一部】

# 質の高い教育活動を持続的に行う働き方改革の実施

## 取組 (2) 組織体制の構築

- 「グランドデザイン」において、働き方改革に関する到達目標の設定及び取組内容の明確化を図るとともに、「プランニングシート」の効果的な活用による分掌間連携の強化及び分掌業務の可視化を図った。
- 加配事務職員が中心となって、校務分掌一覧表を作成し、「誰が」「いつ」「どのような」業務を担当しているのか、どのような時期に業務が集中しているのかを可視化し、時期により業務が担当者に集中する場合や負担の大きい業務について、副担当を配置し、協働化と平準化を両輪として組織体制の見直しを進めた。
- 校内にコアチーム（校長、教頭、分掌代表各1名、事務職員）を設置し、チームによる働き方改革を推進することができるよう、改善プロセスの明確化を図った。

## 成果

- ・ 分掌内や分掌間連携による協働化、業務の平準化を図ることができた。
- ・ 学校評価において、「東小学校の教育の質を向上させるため、自身の業務の進め方を工夫している」と回答する職員が増加した。

### コアチームによる改善プロセス

- ①改善テーマの設定
- ②目標設定と教職員への周知
- ③主体的な行動を促す環境整備
- ④短・中期スパンによる成果



【コアチームによる改善のプロセス】